

見開き 2 ページにまたがる表

入れ子の `<fo:page-sequence>` で `<axf:spread-page-master>` を使用して、見開き 2 ページの幅にまたがり、複数のページに続く表を生成できます。詳細についてはオンラインマニュアルの「[見開きページマスタ拡張](#)」をご参照ください。

次のページから、2 ページにまたがる表を組版する 3 種類の方法を示します。最初の例では、表は左右のページ間の余白にまたがっています。2 番目の例では、各 `<fo:table-row>` にページ間の余白と同じ幅の空の `<fo:table-cell>` を含ませているため、表の表示部分と通常のページの余白とが一致します。3 番目の例では回転させた表の高さが左右のページ間の余白にまたがっています。

ページ間の余白にまたがる表

表はページ間の余白を含めひとつのページから別のページへまたがることのできず、それを回避する必要があります。 ■未訳■

パラメータ	既定値	
-s		すでに Antenna House Formatter V7.1 で組版したドキュメントを Antenna House Formatter で組版する場合は、このパラメータは指定されません。
-d ドキュメント		組版対象の XML/FO/HTML ドキュメントのパスを指定します。
-t スタイルシート		組版で使用する XSL/CS スタイルシートのパスを指定します。このパラメータが指定されていない場合は、既定値のパスが使用されます。
-i オプション設定ファイル		Antenna House Formatter のオプション設定ファイルのパスを指定します。指定された設定内容は、このパラメータよりも優先的に適用されます。
-p ドキュメント		GUI 画面を表示せず、コマンドラインから組版を実行する場合は、このパラメータは無効です。
-pt ドキュメント プリンタ名		GUI 画面を表示せず、コマンドラインから組版を実行する場合は、このパラメータ名が省略された場合は、既定値のプリンタ名が使用されます。
-pts ドキュメント プリンタ名		-pt と同じですが、印刷された場合は、通常使用するプリンタ名が使用されます。
-ps プリンタ設定ファイル		プリンタ設定ファイルのパスを指定します。「プリンタ設定ファイルの作成方法」を参照してください。このダイアログを表示して、プリンタ設定ファイルを作成します。

きます。ドキュメントを印刷する場合は、「[axf:bleed](#)」を使用して、印刷時の位置

機能

Formatter V7.1 が起動されていたら、起動済みの **Antenna House** をします。このパラメータが指定されていないときは、別の **Formatter V7.1** が起動されます。

XML ドキュメントの URI を指定します。GUI 画面が表示されます。

SS スタイルシートの URI を指定します。-d、-p、-pt のいずれかの指定がないときは無効です。

Formatter V7.1 のオプションを記述した XML 形式のオプション設定ファイルを読み込みます。このパラメータはいくつでも指定することができます。後からは、前の内容を上書きします。デフォルトの AHFSettings.xml は常に前に読み込まれます。

印刷ダイアログ を表示してドキュメントを印刷します。-s パラメータ

印刷ダイアログ も表示しないでドキュメントを印刷します。プリンタは、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。

印刷ダイアログの中止ダイアログボックスも表示しません。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。

プリンタのパス名を指定します。このファイルの作成方法は「プリンタ設定」を参照してください。-d でドキュメントが指定されたときは、印刷ダイアログを印刷してください。XML ドキュメントを印刷してください。

パラメータ	既定値	
-c 印刷部数	1	-pt または -pts パラメータが指定された場合は 1 とみなされます。
-pdf ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF ファイルは省略できます。
-pdft ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF ファイルへ PDF 出力します。
-pdfts ドキュメント PDF ファイル		-pdft と同じですが、出力効率が向上します。

機能

パラメータが指定されたときのみ有効で、印刷する部数を指定します。省略されません。

PDF 出力ダイアログを表示してドキュメントを PDF 出力します。省略されません。-s パラメータは無効です。

PDF 出力ダイアログも表示しないでドキュメントを指定されたファイル名で出力します。-s パラメータは無効です。

印刷中の中止ダイアログボックスも表示しません。-s パラメータは無効です。

ページ間の余白に空のセルを入れた表

各 <fo:table-row> にページ間の余白と同じ幅の空の <fo:table-cell> を含ませている。

パラメータ	既定値
-s	
-d ドキュメント	
-t スタイルシート	
-i オプション設定ファイル	
-p ドキュメント	
-pt ドキュメント プリンタ名	

るため、表の表示部分と通常のページの余白とが一致します。

機能
すでに Antenna House Formatter V7.1 が起動されていたら、起動済みの Antenna House Formatter V7.1 で組版をします。このパラメータが指定されていないときは、別の Antenna House Formatter V7.1 が起動されます。
組版対象の XML/FO/HTML ドキュメントの URI を指定します。GUI 画面が表示されます。
組版で使用する XSL/CSS スタイルシートの URI を指定します。-d、-p、-pt のいずれかのパラメータが指定されていないときは無効です。
Antenna House Formatter V7.1 のオプションを記述した XML 形式のオプション設定ファイルのパスを指定します。このパラメータはいくつでも指定することができます。後から指定された設定内容は、前の内容を上書きします。デフォルトの AHFSettings.xml は常にこのパラメータよりも前に読み込まれます。
GUI 画面を表示せず、印刷ダイアログ を表示してドキュメントを印刷します。-s パラメータは無効です。
GUI 画面を表示せず、印刷ダイアログ も表示しないでドキュメントを印刷します。プリンタ名が省略された場

パラメータ	既定値
-pt ドキュメント プリンタ名	
-pts ドキュメント プリンタ名	
-ps プリンタ設定ファイル	
-c 印刷部数	1
-pdf ドキュメント PDF ファイル	
-pdft ドキュメント PDF ファイル	
-pdfts ドキュメント PDF ファイル	

機能

合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。

-pt と同じですが、印刷中の中止ダイアログボックスも表示しません。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-s パラメータは無効です。

プリンタ設定ファイルのパス名を指定します。このファイルの作成方法は「プリンタ設定ファイルの作成方法」を参照してください。-d でドキュメントが指定されたときは、印刷ダイアログを表示して XML ドキュメントを印刷してください。

-pt または -pts パラメータが指定されたときのみ有効で、印刷する部数を指定します。省略された場合は 1 とみなされます。

GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログを表示してドキュメントを PDF 出力します。PDF ファイルは省略できます。-s パラメータは無効です。

GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログも表示しないでドキュメントを指定されたファイルへ PDF 出力します。-s パラメータは無効です。

-pdfit と同じですが、出力中の中止ダイアログボックスも表示しません。-s パラメータは無効です。

ページ間にまたがる回転させた表

回転した表は、ページ間の余白を含めひとつのページから別のページへ <axf:spread-region> の高さ全体を使用してきます。

パラメータ	既定値	機能
-s		すでに Antenna House Formatter V7.1 が起動されていたら、起動済みの Antenna House Formatter V7.1 で組版をします。このパラメータが指定されていないときは、別の Antenna House Formatter V7.1 が起動されます。
-d ドキュメント		組版対象の XML/FO/HTML ドキュメントの URI を指定します。GUI 画面が表示されます。
-t スタイルシート		組版で使用する XSL/CSS スタイルシートの URI を指定します。-d、-p、-pt のいずれかのパラメータが指定されていないときは無効です。
-i オプション設定ファイル		Antenna House Formatter V7.1 のオプションを記述した XML 形式のオプション設定ファイルのパスを指定します。このパラメータはいくつでも

	指定することができません。後から指定された設定内容は、前の内容を上書きします。デフォルトのAHFSettings.xmlは常にこのパラメータよりも前に読み込まれます。
-p ドキュメント	GUI画面を表示せず、印刷ダイアログを表示してドキュメントを印刷します。-sパラメータは無効です。
-pt ドキュメント プリンタ名	GUI画面を表示せず、印刷ダイアログも表示しないでドキュメントを印刷します。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-sパラメータは無効です。
-pts ドキュメント プリンタ名	-ptと同じですが、印刷中の中止ダイアログボックスも表示しません。プリンタ名が省略された場合は、通常使うプリンタが採用されます。-sパラメータは無効です。
-ps プリンタ設定ファイル	プリンタ設定ファイルのパス名を指定します。このファイルの作成方法は「プリンタ設定ファイル

パラメータ	既定値	機能
-ps プリンタ設定ファイル		の作成方法」を参照してください。-d でドキュメントが指定されたときは、印刷ダイアログを表示して XML ドキュメントを印刷してください。
-c 印刷部数	1	-pt または -pts パラメータが指定されたときのみに有効で、印刷する部数を指定します。省略された場合は 1 とみなされます。
-pdf ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログを表示してドキュメントを PDF 出力します。PDF ファイルは省略できます。-s パラメータは無効です。
-pdfs ドキュメント PDF ファイル		GUI 画面を表示せず、PDF 出力ダイアログも表示しないでドキュメントを指定されたファイルへ PDF 出力します。-s パラメータは無効です。
-pdfs ドキュメント PDF ファイル		-pdft と同じですが、出力中の中止ダイアログボックスも表示しません。-s パラメータは無効です。
-param 名前=値		xsl:param のパラメータ名と値を指定します。値が空白を含む場合は、“名前=値”と指定してください。

い。-param は複数指定できます。

ドキュメントは、入れ子の <fo:page-sequence> の後に続けることができます。